

科目名	英文学演習Ⅲ		
曜日・講時	月曜2限		
セメスター	5	単位数	2単位
担当教員	T I N K J A M E S M I C H A E L		
科目ナンバリング	LHM-LIT322E	使用言語	英語
メディア授業科目		主要授業科目	○
授業題目	ヴィクトリアン・ゴシック、ブラム・ストーカー、ドラキュラ		
授業の目的と概要	1897年に出版されて以来、ブラム・ストーカーの『ドラキュラ』は、19世紀イギリスの小説の中で最も人気があり、影響力のある作品のひとつとなった。吸血鬼ドラキュラ伯爵という象徴的な人物を大衆文化に広めただけでなく、この小説自体も、20世紀初頭のイギリスおよびヨーロッパ文化のさまざまなテーマや不安を探究する魅力的な作品です。このコースでは、この小説の全編を分割して読み（1週間に30ページ程度）、関連するいくつかのテーマを検討します：ゴシック文学の伝統、吸血鬼、超自然的なものの考え方、テクノロジーと科学的近代の影響、「新しい女性」というテーマを含むヴィクトリア朝後期のセクシュアリティとジェンダーに関する考え方、「東洋」への恐怖を含むイギリス文化における国際関係、植民地主義、人種に関する考え方。また、この小説が現代文化におけるホラー小説の思想に残した遺産についても考察する。		
学修の到達目標	受講生は毎週、小説の一部を事前に読み、クラスではグループワークを通して小説について話し合う。学習成果は以下の通り：(1)小説を原文で読む、(2)ドラキュラと19世紀後半のイギリス文化の歴史的・知的背景をより深く理解する、(3)近代における小説と文学の理論をより深く理解する、(4)授業を通してディスカッションや英作文のスキルを向上させる。		
授業内容・方法と進度予定	1: ドラキュラ入門 2: ドラキュラを読む 第1-2章 3: 第3-4章 4: 第5～7章 5: 第8～10章 6: 第11-12章 7: 13-15章 【中間テスト】 8: 第16-18章 9: 19-21章 10: 第22-24章 11: 第25～28章 12: ドラキュラとホラーの力 13: ドラキュラとジェンダー論 14: ドラキュラの余生 世界の映画 15: おわりに		
成績評価方法	20% 中間小テスト 20% 期末試験 20% 小論文 20% 40 期末小論文		
教科書および参考書	Bram Stoker. Dracula. Edited by Maurice Hindle. (Penguin Classics, 2003)		
授業時間外学修	受講生は短いオンライン・ライティング課題、コース終了時のエッセイ1本、小説に関する小テストをこなさなければならない。		
実務・実践的授業	受講生は毎週、授業前に小説を30ページまで読むことになっており、授業では発表者によるプレゼンテーションとグループ・ディスカッションが行われる		
その他	多くのオンライン版や翻訳があるので、授業外でも参照できるが、授業では英文を参照する。		

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要な学修時間の目安は、「講義・演習」については15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間、「実験、実習及び実技」については30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間です。